astraJLPT Editorial

問題用紙

(2 0 0 5 - 1 2)

1 級

文字・語彙

(100点　45分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で8ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 Ⅰ　次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。最も適当な読み方を、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　日本の一般家庭では和洋折衷(1)の献立(2)が多いようだ。ハンバーグにみそ汁といった組み合わせはその典型(3)だ。

(1) 折衷	1	せきちゅう	2	せきちょう	3	せっちゅう	4	せっちょう
(2) 献立	1	けんだて	2	けんりつ	3	こんだて	4	こんりつ
(3) 典型	1	ていがた	2	ていけい	3	てんがた	4	てんけい

問 2　土産に真珠(1)と陶器(2)を勧められた(3)。

(1) 真珠	1	しんしゅ	2	しんじゅ	3	しんしゅう	4	しんじゅう
(2) 陶器	1	とうき	2	どうき	3	とき	4	どき
(3) 勧められた	1	すすめられた			2	とどめられた		
	3	みとめられた			4	もとめられた		

問 3　花の苗(1)を鉢(2)に入れ、育て方のメモを添えて(3)友人にあげた。

(1) 苗	1	くき	2	なえ	3	ね	4	め
(2) 鉢	1	かご	2	はち	3	ぼん	4	わん
(3) 添えて	1	そえて	2	くわえて	3	そなえて	4	ととのえて

問 4　彼は連日(1)徹夜(2)で練習し、本番に臨んだ(3)。

(1) 連日	1	れんじつ	2	れんにち	3	れんか	4	れんび
(2) 徹夜	1	ていや	2	ていよ	3	てつや	4	てつよ
(3) 臨んだ	1	いどんだ	2	からんだ	3	のぞんだ	4	はげんだ

問 5　学校の復興(1)に尽くし、生徒たちから慕われて(2)いた田中先生が老衰(3)で亡くなったそうだ。

(1) 復興	1	ふくこう	2	ふくきょう	3	ふっこう	4	ふっきょう
(2) 慕われて	1	したわれて	2	になわれて	3	うやまわれて	4	したがわれて
(3) 老衰	1	おいあい	2	おいすい	3	ろうあい	4	ろうすい

問題 Ⅱ　次の文の下線をつけた言葉は、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く言葉を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　道に倒れていた人を介抱した。

1　情報　　2　開放　　3　解剖　　4　窮乏

(2)　事業に失敗して、大きな負債が残った。

1　不正　　2　夫妻　　3　宝石　　4　紡績

(3)　新しい本社ビルがいよいよ来週披露される。

1　比例　　2　疲労　　3　肥料　　4　微量

(4)　「白い花」の「白い」は「花」を修飾する形容詞だ。

1　主食　　2　収集　　3　首相　　4　就職

(5)　つまらない意地を張るな。

1　一致　　2　医師　　3　位置　　4　維持

問題 Ⅲ　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字をそれぞれの 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　彼は音に(1)びんかんで、車の(2)そうおんが気になって眠れないと(3)なげいている。

(1) びんかん	1	便感	2	敏感	3	貧感	4	頻感
(2) そうおん	1	奏音	2	雑音	3	騒音	4	響音
(3) なげいて	1	怖いて	2	悔いて	3	喚いて	4	嘆いて

問 2　その時彼は、人々の(1)たましいを(2)きゅうさいすることが自分の(3)しめいだと(4)さとった。

(1) たましい	1	塊	2	魂	3	魅	4	魔
(2) きゅうさい	1	休災	2	休済	3	救災	4	救済
(3) しめい	1	示命	2	私命	3	志命	4	使命
(4) さとった	1	判った	2	承った	3	悟った	4	解った

問 3　村から(1)いたくされた(2)いせきの(3)はっくつ調査は、その目的をほぼ(4)とげることができた。

(1) いたく	1	委択	2	委託	3	為択	4	為託
(2) いせき	1	遣石	2	遣跡	3	遺石	4	遺跡
(3) はっくつ	1	発屈	2	発堀	3	発掘	4	発窟
(4) とげる	1	果げる	2	到げる	3	修げる	4	遂げる

問 4　彼が(1)ひきいるチームは、これまで(2)ちくせきしてきた(3)ぼうだいなデータを活用すべく(4)しこうを重ねている。

(1) ひきいる	1	率いる	2	統いる	3	誘いる	4	導いる
(2) ちくせき	1	蓄責	2	築責	3	蓄積	4	築積
(3) ぼうだい	1	冒大	2	莫大	3	暴大	4	膨大
(4) しこう	1	指行	2	指向	3	試行	4	試向

問題 Ⅳ　次の文の下線をつけた言葉の二重線（　　）の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1)　取り組むべき(か)だいがたくさんある。

1　毎朝、出かける前に新聞に目を通すのをにっ(か)にしている。

2　事故でけがをした人がたん(か)で病院に運ばれた。

3　この建物にはきょ(か)がなければ入れない。

4　きゅう(か)がなかなかとれない。

(2)　そのころは日本映画がぜん(せい)の時代だった。

1　(せい)だいな結婚式で、招待客がおおぜい来ていた。

2　日本では、二十歳になると(せい)じんとみなされる。

3　今は世界のじょう(せい)をすぐに知ることができる。

4　子どもたちはスタートの合図でいっ(せい)に走り出した。

(3)　道路がじゅう(たい)していて、パーティーに遅れた。

1　あの大臣は(たい)しゅうに人気がある。

2　行政の(たい)まんに抗議する。

3　その国は去年同盟をだっ(たい)した。

4　景気のてい(たい)はまだ続きそうだ。

(4)　(かん)ちがいをしてみんなに笑われた。

1　輸入の規制が(かん)わされた。

2　時間がありませんので、質問はご(かん)べんください。

3　火山活動に対する(かん)しは今も続いている。

4　私たちの会社は、利益を社会に(かん)げんしていきます。

(5)　その国は昨年独立を(せん)げんした。

1　テレビで(せん)でんしていた新しい車がほしい。

2　卒業後の進路の(せん)たくに悩んでいる。

3　考えたことはじっ(せん)して初めて意味がある。

4　このウイルスは人にはかん(せん)しない。

問題 V　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最も適当なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　昨日のゲームは後半に＿＿＿が一気に逆転した。

1　均衡　　2　形勢　　3　原形　　4　平均

(2)　裁判では、法律の＿＿＿な適用がなされなければならない。

1　過密　　2　厳密　　3　親密　　4　精密

(3)　電話をほかの人に＿＿＿ときには、かけてきた方の名前を必ず確認してください。

1　取り扱う　　2　取り組む　　3　取り次ぐ　　4　取り巻く

(4)　台風の影響を＿＿＿受けて、収穫が激減した。

1　いやに　　2　かりに　　3　もろに　　4　やけに

(5)　このカレンダーは雑誌の＿＿＿なので、これだけを買うことはできません。

1　登録　　2　記録　　3　目録　　4　付録

(6)　レポートのために図書館から借りていた本を＿＿＿した。

1　返還　　2　返却　　3　返済　　4　返品

(7)　みんなそろったのに＿＿＿な人がまだ来ない。

1　格別　　2　肝心　　3　貴重　　4　重大

(8)　このカメラは操作が＿＿＿ので、評判が悪かった。

1　あつかましい　　2　たくましい　　3　ふさわしい　　4　ややこしい

(9)　転職の話があるが、今の職場に＿＿＿があってなかなか決心がつかない。

1　後悔　　2　後退　　3　未満　　4　未練

(10)　これは日本文学について＿＿＿した本です。

1　概説　　2　演説　　3　閲覧　　4　回覧

(11)　今後とも、＿＿＿よろしくお願い申し上げます。

1　何だか　　2　何でも　　3　何とぞ　　4　何より

(12)　大きいテーブルを買いたいけれど、この部屋には置く＿＿＿がない

1　スペース　　2　ステージ　　3　スタンド　　4　スタジオ

(13)　自分の経験だけですべてを判断するのは＿＿＿なことだ。

1　おろか　　2　かすか　　3　のどか　　4　はるか

(14)　昨日はぐっすり眠れたので、今日は頭が＿＿＿いる。

1　たえて　　2　すえて　　3　さえて　　4　うえて

(15)　同じ英語＿＿＿の国といっても、そこで使われている英語はさまざまだ。

1　圏　　2　産　　3　界　　4　派

問題 Ⅵ　次の(1)から(5)の＿＿＿の言葉の意味が、それぞれのはじめの文と最もちかい意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　足…事故で電車が止まったので、家に帰る足がなくなってしまった。

1　大阪に行くのなら、ぜひ京都まで足をのばしてください。

2　ここから銀行までは、君の足なら5分くらいだろう。

3　少々足の便が悪いですが、静かで良いホテルです。

4　見込みが外れて、少し足が出てしまった。

(2)　遠い…政治は庶民にとって遠い存在であってはいけない。

1　あの人と恋人同士だったのは遠い昔の話だ。

2　研究の完成にはまだ遠い。

3　年をとると、耳が遠くなってくる。

4　親しかった友人でも、長く会わずにいると、遠く感じるようになるものだ。

(3)　ふさがる…今、手がふさがっているので、ちょっと電話に出てくれ。

1　あきれて開いた口がふさがらない。

2　金曜日は会議室はすべてふさがっています。

3　手術の傷がきれいにふさがった。

4　その時は悲しみで胸がふさがる思いだった。

(4)　勘定…この店の勘定なら、さっき小林さんがすませましたよ。

1　お勘定したいんですけど、カードでもいいですか、現金でないとだめですか。

2　こんな天気になることは勘定に入れていなかった。

3　田中さんも参加者として勘定してよろしいでしょうか。

4　何度数えても、なかなか勘定が合わない。

(5)　流れる…結局、その計画は流れてしまった。

1　雨で運動会が流れたそうだ。

2　あれから10年の歳月が流れた。

3　形式的・表面的な議論に流れないよう、注意しよう。

4　この作家の作品には、みな同じ思想が流れていると思う。

問題 Ⅶ　次の(1)から(5)の言葉の使い方として最も適切なものを、それぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　まるまる

1　来ている人たちまるまるにプレゼントを用意してあります。

2　昨日の発表はとても好評でまるまるだったそうだね。

3　せっかくのアイデアをまるまる人に使われてしまった。

4　そこでまるまる寝ているのが私のネコです。

(2)　交付

1　国から各大学に補助金が交付された。

2　国民には国に税金を交付する義務がある。

3　今月の給料が交付されたら、新しいくつを買うつもりだ。

4　隣の人に旅行のおみやげを交付した。

(3)　軽率

1　お酒は軽率を引き起こしますから、気をつけましょう。

2　人を軽率に批判するのはやめた方がいい。

3　よく考えないで軽率してはいけない。

4　私の軽率の行動で、多くの人に迷惑をかけてしまった。

(4)　露骨

1　新しいめがねにしたら露骨に見えるようになった。

2　開始時間は露骨に知らせておきました。

3　昔のことはあまり露骨に覚えていない。

4　露骨にいやな顔をしてはいけない。

(5)　おごる

1　この本は私が父におごったものです。

2　今日は私がおごるからどんどん注文して。

3　手作りの料理をおごっていただいて恐縮です。

4　入学祝いに気持ちばかりのプレゼントをおごった。

astraJLPT Editorial

問題用紙

(２００５－１２)

１級

読解・文法

(200点　90分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で18ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

来世紀に向けて、個人レベルであれ地域社会・地球規模であれ、科学技術の進歩ゆえにいっそう複雑になっていく問題に対して、個人が判断しなくてはならない局面が増えていくことだろう。その時に自分なりに納得のいく判断を下すためには、科学に無関心・無理解を決めこんだりせず(注1)、ふだんから科学に目を向け、科学的な考え方にふれている必要があるだろう。つまり、①科学と社会を結びつける良質の情報が必要なのである。その情報は自分の行動に役立てるために受信するだけではなく、場合によっては、自ら責任ある発信者となるために役立てることも大切である。

残念なことに、科学者がもたらした成果は、そのままでは判断材料としては②役に立たないことが多い。まず、専門用語ゆえに科学はとりつきにくい。科学が高度になり細分化したために、領域が異なれば科学者でも理解が困難な状況になってしまっている。良質の情報は優れた③表現能力をともなわなくてはならないが、実際のところ、研究に専念している科学者には時間的余裕がなく、そうした表現能力を磨くいとまもないのが普通である(注2)。

一方で、④科学者にも良質の情報が必要である。科学者は何かしら新しいことを世界に先駆けて発見・発表することに熱中するものである。その結果が化学・生物・核兵器の開発に加担すること(注3)はないか、あるいはわれわれの生活ないしは地球という生態系(注4)に思いもよらぬ影響を与えることがないかに思いを馳せる(注5)機会は、必ずしも多くはない。⑤こうした点に関して、科学者は外部から指摘される必要がある。

（　⑥　）、最先端の科学の研究成果とその社会的意味を科学に慣れ親しんでいない人に、また社会的意味については科学者に対しても改めて説明する人材、つまり科学の“インタープリター”が必要となる。インタープリターは専門用語の単なる直訳者(注6)ではなく、問題を指摘し、進むべき方向を示唆(注7)する、科学と実生活の橋渡しをする解説・評論者である。かれらが架けるその橋は、専門化した科学技術を公開して市民を啓蒙(注8)するという一方通行のものであってはいけない、インタープリターには科学者がふだん忘れがちな社会への波及効果(注9)、倫理的問題(注10)、他の科学技術や学問分野との連繋(注11)の可能性なども鋭く指摘してほしい。また、一般の人の科学に対する素朴な疑問の中からインタープリターが斬新(注12)な考えを吸い上げることで、科学者は思いもよらぬ発想転換のヒントを得られることも考えられる。

現在でも優れた作家、評論家、科学者、ジャーナリストなどが先端科学のインタープリターとして活躍しているが、21世紀に向けてその活躍はますます期待されている。

（黒田玲子「社会のなかの科学、科学にとっての社会」『現代日本文化論13 日本人の科学』岩波書店による）

（注１） 決めこむ：勝手にそのように決めてしまう

（注２） いとま：暇、時間のゆとり

（注３） 加担する：力を貸す

（注４） 生態系：生物とそれを取り巻く環境

（注５） 思いを馳せる：想像する

（注６） 直訳：原文の一語一語を辞書通りの意味に忠実に訳すこと

（注７） 示唆する：ヒントを与える

（注８） 啓蒙する：教え導く

（注９） 波及：影響が及ぶこと

（注10）倫理：人として守るべき道

（注11）連繋：つながりをつけること

（注12）斬新な考え：それまでにない新しい考え

問１ ①「科学と社会を結びつける良質の情報が必要なのである」とあるが、この「良質の情報」とは何か。

1　一般の人にも役に立つ科学に関する情報

2　複雑な社会の問題に関係のある科学的情報

3　科学者が研究のヒントにできるような情報

4　社会に大きな影響を与える科学に関する情報

問２ ②「役に立たないことが多い」とあるが、筆者はどうしてそう思うのか。

1　科学者には複雑な問題を考える時間的余裕がないから

2　科学者がもたらした成果は社会的意味があまりないから

3　科学者の発表する研究成果は一般の人には理解が困難だから

4　科学が高度になり、一般の人は科学に関心を持たなくなったから

問３　③「表現能力」とあるが、ここではどんな能力のことを言うのか。

1　科学技術の進歩にともない複雑化する問題を解説できる能力

2　自分の研究成果が一般の人にもわかるように説明できる能力

3　領域の違う科学者と自分たちの研究成果について話し合える能力

4　一般の人と地域社会を結びつける優れた研究を発表できる高度な能力

問４　④「科学者にも良質の情報が必要である」とあるが、筆者はどんな情報が必要だと言っているか。

1　自分の研究成果が、社会生活や地球環境などに、どんな影響を与えるかを示す情報

2　自分の研究を、科学に慣れ親しんでいない人に、わかりやすく解説する方法を教える情報

3　自分の領域とは異なる研究の成果が、自分の研究にどのような影響を与えているかを示唆する情報

4　自分の研究に対して、領域の異なる科学者や一般の人はどんな関心を持っているかを知るための情報

問５　⑤「こうした点」とあるが、どんな点か。

1　自分の研究成果がどのような社会的意味を持つかという点

2　自分と同じ研究をしている科学者がどのくらいいるかという点

3　自分の研究の内容や進め方に新しい発見があったかどうかという点

4　科学者が自分の研究成果の影響について発表したかどうかという点

問６　（　⑥　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　さらに　　2　そこで　　3　あるいは　　4　ところが

問７　筆者は、インタープリターが科学者に対してどのように働きかけることを期待しているか。

1　科学の研究成果がどのような社会的問題を引き起こすかについて、調べるように指導すること

2　一般の人の科学に対する疑問に答えられるように、科学者が表現能力を磨くことの重要性を訴えること

3　作家、評論家、ジャーナリストがさらに活躍できるように、研究成果をできるだけ早く公開するよう促すこと

4　科学者の気づかない問題点を指摘し、他分野との協力の可能性や研究のヒントになるような情報を提供すること

問題 Ⅱ　次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1) 昼下がりのカフェ(注1)でのこと。男女の争う声に振り向くと、ひとりの女が立ち上がり、持っていたグラスを逆さにして飲み物をこぼし始めた。

客達の視線が集まる。連れの男は顔を上げようとはせず、女の腕を掴んで座らせようとするが、女はその手を振り払うと、叫んだ。「あんた(注2)なんか最低よ！」

ほかの客が言っている声が聞こえる。

「ドラマみたいね」

いささか陳腐(注3)だったが、女は「演じること」ですっきりした①のかもしれない。

現実的ではないことを、「ドラマみたい」とよく言う。

13年前の朝のことだった。洗面台と洗濯機とのわずかな隙間に頭を突っ込んで、母が全裸で倒れていた。意識はなかった。

救急隊員(注4)の緊迫(注5)した医療用語が飛び交い、心臓マッサージが始まる。オレンジ色の毛布を掛けられた母は、ピクリとも動かない。その隙に、開け放たれた玄関から飼い猫が外へ出てしまった。

当時、大学生だった弟が、とっさに猫を捕まえたその時、「猫なんか構っている場合ですか！」と隊員の怒鳴り声が飛んだ。

弟は、猫を抱いたまま立ち尽くしていた。②

後は、「かかりつけ(注6)の病院は？」と、はじかれるように聞かれたことだけしか思い出せない。

これがドラマなら、大概は「姉弟で『お母さん！』と駆け寄って下さい」と指示される。

人間は、とっさにとんでもないことをする。長年、人間を見つめる仕事をしてきたはずが、人の本当とはなにか、いまだに捉えきれないでいる。

（岸本加世子「岸本加世子の台本にないセリフ」2003年1月11日付朝日新聞による）

(注1) カフェ：飲食をする店の一つ

(注2) あんた：あなた

(注3) いささか陳腐だ：よくある情景だ

(注4) 救急隊員：急な病気や事故にあった人を病院まで運ぶ職員

(注5) 緊迫する：物事の様子が非常に緊張し、油断のできない状態になる

(注6) かかりつけの病院：いつも診てもらっている病院

問１　①「女は『演じること』ですっきりした」とあるが、なぜすっきりしたのか。考えられる理由として、最も適当なものはどれか。

1　女は人前で男への怒りを十分に表すことができて満足したから

2　女は女優として人前で上手に演じることができ、充実感を得たから

3　女は人前で男を非難することで、他人から同情を得ることができたから

4　女は人前で男の手を払い、叫んだことを「ドラマみたい」とほめられたから

問２　②「猫を抱いたまま立ち尽くしていた」とあるが、弟はなぜそうしたのか。考えられる理由として、最も適当なものはどれか。

1　隊員の救急処置に驚いたから

2　隊員の質問がわからなかったから

3　猫が外へ出て行きそうだったから

4　どうすればいいか、わからなかったから

問３　筆者は女優である。その立場から、この文章で言いたいことは何か。

1　長年、女優の経験を積んできたので、とっさの時にも冷静に行動することができる。

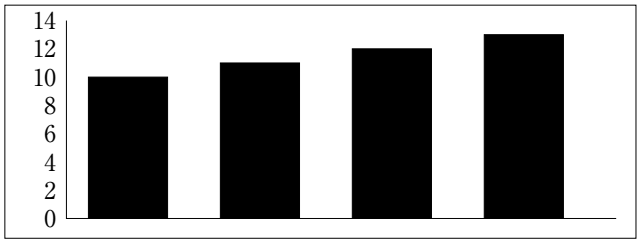
2　長年、女優の経験を積んできたが、現実の人間の心と行動を把握することは難しい。

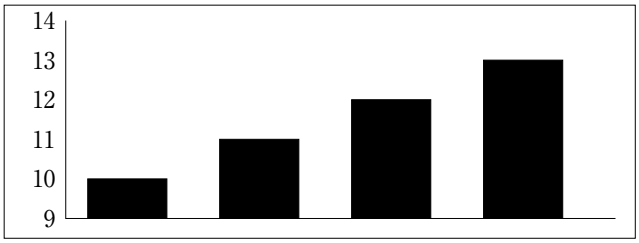
3　長年、女優の経験を積んできたが、とっさの時にはまだうまく演じることができない。

4　長年、女優の経験を積んできたので、様々な人間の心と行動を捉えて十分表現することができる。

（2）グラフを見た時の印象は何によって決まるのでしょう。グラフは表や文字と比べると、よりビジュアル性の高いものです。グラフの第一印象は数字ではなく形で決まります。（中略）

二つのグラフ(注1)①を見て下さい。二つの企業の最近4年間の売上を示したものです。右の企業は成長が著しく、左の企業の伸びは鈍いように見えます。





本当にそうでしょうか。実は二つのグラフはまったく同じ数値を表にしたものです。数値は左から10、11、12、13と推移(注2)しています。右のグラフは縦軸の目盛りが9から始まっています。一方、左のグラフは、目盛りは0から始まっています。もう一度二つのグラフで確認して下さい。

同じ数値を表すグラフでも正反対の印象を与える場合があります。どうしてこうしたことが起こるのでしょう。それは人が(　②　)からです。この場合には棒グラフですから棒の長さに注目しています。棒の長さを比較すると右のグラフは棒の長さの差異が激しい。それに比べて左のグラフは長さの差異がそれほど大きくない。この違いが印象の違いになります。

このことからわかるように③グラフは数値を忠実に翻訳したものではありません。数値は客観的な事実ですが、グラフは客観的な事実を表現しないのです。数値をビジュアル化する過程で作り手の主張が反映されます。客観的な事実のみを示すならば表で表現すべきです。グラフでは作り手に主張がなければ伝えたいものと正反対の印象を与えてしまう可能性さえあります。

主張を確実に伝えるために、初めに自分が何を伝えたいのかを明確にします。そしてその後にそれに合わせた形でグラフを作成します。最初にメッセージありき(注3)で、グラフはその裏付け(注4)の道具なのです。

（飯田英明『「図解表現」入門』日本経済新聞社による）

（注１） ビジュアル：目に見えること

（注２） 推移：移り変わること

（注３） メッセージありき：メッセージがあった

（注４） 裏付け：事実であることを証明する証拠

問１　①「二つのグラフ」はどのようなことを示すために出されているか。

1　人はグラフの形ではなく、数字から情報を得ていること

2　同じ内容を表すものでもグラフの作り方で印象が変わること

3　グラフの目盛りは0から始めなければ正確な情報は伝わらないこと

4　伸びが著しいか鈍いかは、人間の印象によって変わるので意味がないこと

問２　(　②　)に入るのは次のどれか。

1　グラフを形で見ている

2　グラフを数値で理解している

3　グラフをあまり信用していない

4　グラフをいろいろな角度から見ている

問３　③「グラフは数値を忠実に翻訳したものではありません」とあるが、それはなぜか。

1　グラフでは、わずかな数値の差が表しにくいから

2　グラフの中には、正しい数値が書かれていないことが多いから

3　数値をグラフにするとき、グラフを作る人の考えで形が変わるから

4　数値をグラフにするとき、少し数字を変えてしまってもわからないから

問４　筆者はグラフを作ることに関して、どのようなことをすすめているか。

1　自分の考えを明確にするために、まずグラフを作ってみること

2　数値を客観的な事実として示すことができるようなグラフを作ること

3　自分の考えをはっきりさせてから、それを的確に伝えるグラフを作ること

4　自分の主張に合わせるため、時には事実と反対の印象を与えるグラフを作ること

（3）ストレスは、むやみに避けるものではなく、適当につき合っていくべきものである。そのつき合い方に示唆(注1)を与えてくれる動物実験を紹介しよう。

この実験では、2匹のラット（実験用シロネズミ）のしっぽを電線につなげて、そこに電気を流す。ラットは痛いので騒ぐ。ラットにとって、電流は大変なストレッサー(注2)だ。

2匹のうち「上司」とよばれるほうは、前脚で、目の前のスイッチを1回押せば電流を切ることができる。しっぽに痛みを感じたら、スイッチを押して電気ショックを回避(注3)できるのである。もう1匹、「部下」とよばれるほうは、自分で電流を切ることはできない。上司が切ってくれるのをひたすら待つだけである。

この2匹に電流が一定量流された。上司と部下、両ラットがしっぽに受けた電気ショックの量は全く同じである。それなのに、2匹のラットの胃を調べてみると、上司のほうが部下よりも潰瘍(注4)が小さかった。

この結果は、ストレッサーがあっても、自分でコントロールできれば、悪影響は少ないことを意味している。ストレッサーの量よりも、それをコントロールできるかどうかのほうが重要なのだ。しかも、コントロールできるかどうかは、多分(注5)に主観で決まる。

たとえば、長い時間働いている人が、それを強いられたものと思えば、長時間労働はストレッサーとなる。ストレスを引き起こし、からだと心に深刻な影響が出る。ところが、自分が好き好んで長い時間働いていると思えば、長時間労働というストレッサーをコントロールしている

ことになる。したがって長時間労働はストレスの悪影響を生まない。現実は一つでも、それをどう受け止めるかは当人次第なのである。

（相川充『反常識の対人心理学』日本放送出版協会による）

（注１） 示唆：ヒント

（注２） ストレッサー：ストレスを与えるもの

（注３） 回避する：避ける

（注４） 潰瘍：ストレスなどが原因で、そこなわれた体の組織

（注５） 多分に：大いに

問１ ラットを使ってどのような実験が行われたか。

1　電流を流し、ラットがそのストレスからどのように身を守るかを調べる実験

2　電流を流し、そのストレスが与える影響は条件によりどう違うかを調べる実験

3　電流を流し、2匹のラットのどちらが早く電流を切ることができるかを調べる実験

4　電流を流し、それが胃の潰瘍を小さくするのにどの程度効果があるかを調べる実験

問２ この実験で「上司」、「部下」とよばれる2匹のラットの役割は、次のうちどれか。

1　「部下」が「上司」の分の電流も受ける。

2　「上司」が命令し、「部下」が電流を切る。

3　「上司」がスイッチを押して、「部下」に電流を流す。

4　「上司」がスイッチを押して、自分と「部下」の電流を止める。

問３ ラットの実験の結果から、どのようなことが言えるか。

1　ストレスは、多ければ多いほど悪影響が多い。

2　ストレスは、他との競争がある場合、悪影響が多い。

3　ストレスを自分で調整できる場合、悪影響は少ない。

4　ストレスを他から与えられる場合、悪影響は少ない。

問４　長時間労働によるストレスの悪影響を少なくするには、どうすればいいか。この実験から推測できることは何か。

1　職場の上司からの指示でも時には断る。

2　嫌な仕事でも力を抜かないで一生懸命仕事をする。

3　自分で時間をコントロールしてうまく体を休める。

4　やりたいという気持ちを持って前向きに仕事をする。

問題 Ⅲ　次の(1)から(5)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1) 私には、ひとをほめるクセがある。「ひと」というのは、芸術家諸君のことだ。これは、私の心がひろいからではなく、せまいからである。どうしても、ほめられない相手もあるが、少しでも美点を発見するように努力すれば、たいがいはほめられる。たとえひとを傷つけても、正しい見解を主張するのが、批評の厳格さであろうが、なかなか①この原則が守れない。守れないというのは、私の心が狭い、弱いからであろう。やっつけてやろうと、攻撃だけを心がけるのも、実に狭いやり方であるが、万事ホドホドに、あたりさわり(注)のないようにというのも、②よくないと思う。私は時によると、かつて自分の作品を非難した仲間の作品に対して、ことさら甘い点をつけることがある。これは、自分をやっつけた相手に対しても、寛大な態度を示したい、つまり自分の心のひろさを証明したいためであり、結局は心のひろさではなくて、心のせまさを暴露していることになる。

(武田泰淳『武田泰淳全集 第16巻』筑摩書房による)

(注)　あたりさわりのないように：無難に

問1　①「この原則」とは筆者のどのような態度を指すか。

1　芸術作品の批評をする時、少しでも美点を見つけようと努力する態度
2　芸術作品の価値を見極めるため、批評を行う際の厳しさを失わない態度
3　芸術作品の批評をする時、作品だけでなく芸術家を決して傷つけない態度
4　芸術作品の真の価値にかかわらず、常に厳しい批評や主張で攻撃する態度

問2　②「よくないと思う」とあるが、筆者は何がよくないと思っているか。

1　厳密な評価ではなく、甘めの評価を示すこと
2　批判されたことがある相手の作品を攻撃すること
3　批評において、常に正しいと思う見解を伝えること
4　厳しい評価によって、自分の能力の高さを証明すること

（2）親孝行という話をすれば、私はいろんな人に、子供に期待するなよ、ということを言うんですね。なかば冗談なのですが、子供は親孝行なんかする必要ないんだと。なぜかといえば、子供が生まれる前、そして生まれた瞬間、それから六つ七つぐらいまでのあいだに、子供は親に生きる喜びというものを十分与えつくしているのだから、というふうに言うのです。

昔、私の友人でも、生まれる子供の名前を一生懸命に考えて、暇があればノートに書きつけているような男が、おりました。そのことは彼の生きていく上でのひとつの喜びだったと思います。そして子供が生まれる。そのうちに片言でパパ、なんて言ったりする。それから歩くようになる。（中略）幼稚園にはいり、小学校にあがる。子供の誕生から成長の過程のなかで、そのつど両親は言葉につくせないほどの人生の喜びというものをあじわいつくしているんじゃないかと思います。

（五木寛之『人生の目的』幻冬舎による）

【問い】　筆者の考えと合うものはどれか。

1　親は子供に親孝行を期待してもよいが、子供が十分成長するまで待つべきであろう。

2　親は子供が幼い時に愛情を与えつくしたのだから、子供が親孝行するのは自然であろう。

3　子供は幼いころに親に対して生きる喜びをすでに与えており、それが何よりの親孝行であろう。

4　子供の成長は親にとって生きていく上での喜びだが、子供の側も親が喜ぶように孝行するべきであろう。

（3）ほんの一昔前まで運動中に水を飲むことは、よくないとされていました。かなり長時間の厳しい運動でも水を禁止していたのです。水を飲むことで疲労が増し、胃腸にも悪い、という“理由”でしたが、実は根性論(注)がその背景にあったのです。安易に水を飲むようでは最後まで頑張れるはずがない、強くなれないというわけです。

しかし、今日では水は飲みたい時に飲みたいだけ飲んでよい、という考えに変わってきました。飲みたいのは、からだが要求しているのだ、という考えが背景にあります。

（藤原健固『歩きの科学』講談社による）

（注）　根性：困難に負けない強い意志

【問い】　この文章の内容に合っているものはどれか。

1　今は運動中に水を飲んでも根性がないとは言われない。

2　今では運動の激しさによって水を飲む量が決まっている。

3　昔から運動中に水を飲むのはからだにいいと言われてきた。

4　今より昔のほうが長時間の厳しい運動に耐えられる人が多かった。

（4）言語は人間に与えられた最上で最良の贈物であって、その贈物の大部分は本を媒介(注1)として人間に示されているんですね。本にまさる媒介物は将来も現れないでしょう。ですから、本の運命は厳しいなんてことを言う人もいますが、僕はそうは思わない。断言してもいいんですけど、本は絶対になくならない。本がなくなる時は、書記言語(注2)のなくなる時です。その時、人間はたぶん別の生き物になっているでしょうね。

（井上ひさし『本の運命』文芸春秋による）

（注１）媒介：二つのものの間に立って、関係をつけること

（注２）書記言語：書かれた言葉

【問い】　筆者は、なぜ「本は絶対になくならない」と考えているのか。

1　本だけが人間の言葉を正しく伝えるものだから

2　人間の使う書記言語はいつかなくなるものだから

3　本の運命が厳しいというのは一時的なものだから

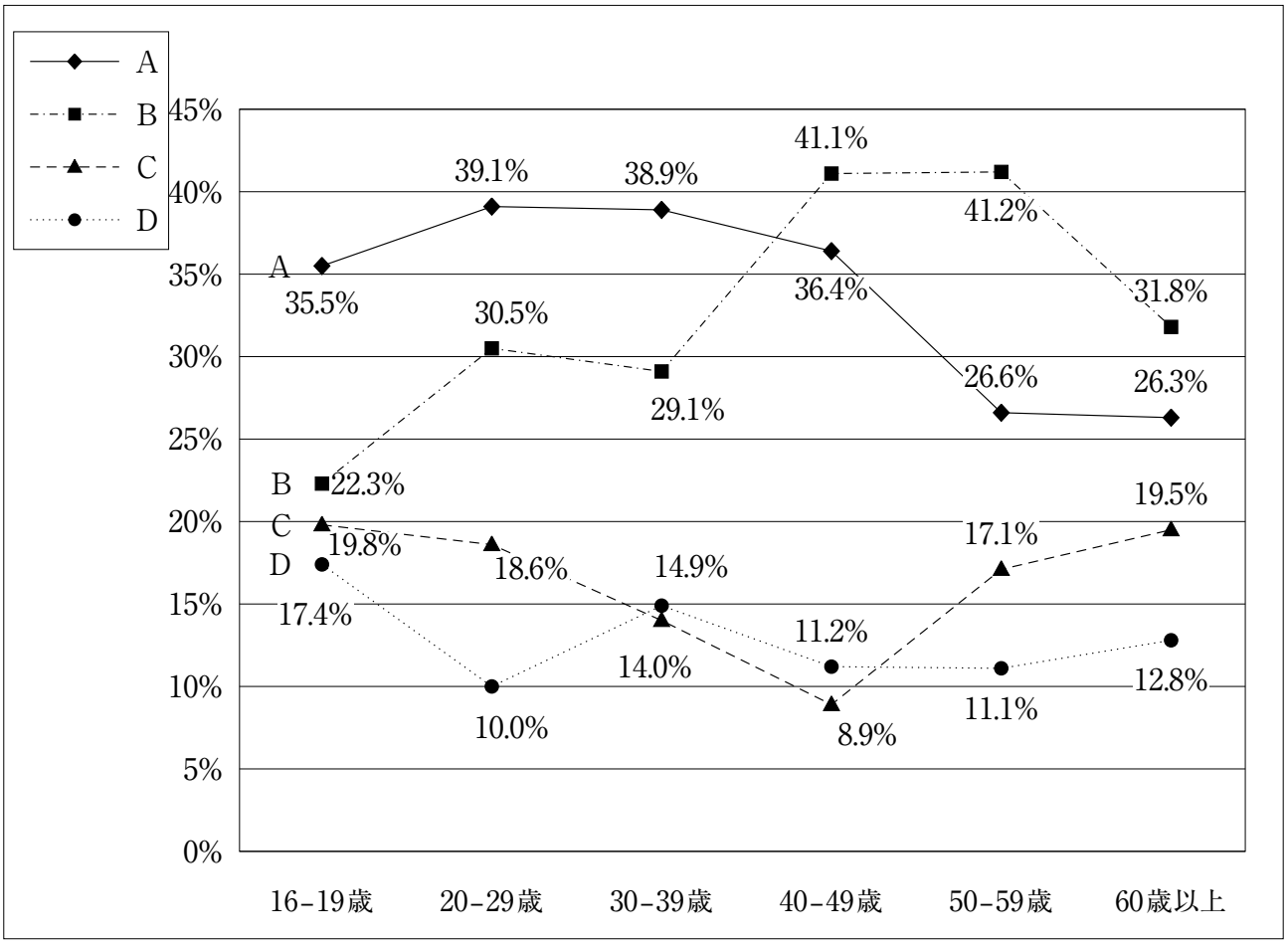
4　本は人間にとって、言葉を伝える最もよい手段だから

（5）日本人は「察し合い」の会話をすると言われている。「察し合い」とは、言葉で表現されなくても相手の気持ちや状況を想像してお互いに理解し合うことである。次のグラフは文化庁が2002年1月に行った世論調査で「察し合い」の会話についてたずねた結果である。

それによると、「ア：これからも察し合いの文化を伝えていくべきだ」と考えている人は少なく、どの世代も20％未満で、40代が最も少なかった。また、どの世代も10～20％が「イ：誤解を招くこともあるので、相手に『察し』を期待しない方がいい」と考えており、「ウ：これからは、きちんと言葉に出して言うべきだ」と考えている人がさらに多いことを考えると、これからは「察し合い」の会話が減っていくのではないかと思われる。

40代、50代では約40％が「ウ」と回答しているが、「ア」の回答数と合わせて考えると、「察し合い」の会話に一番否定的なのは40代だと言えそうだ。

それに対して、10～30代では「エ：相手や状況によって、察し合いの会話をするかどうか使い分けるといい」という回答が一番多かった。



（文化庁『平成13年度 国語に関する世論調査――日本人の言語能力を考える――』財務省印刷局による）

ア：これからも察し合いの文化を伝えていくべきだ

イ：誤解を招くこともあるので、相手に「察し」を期待しない方がいい

ウ：これからは、きちんと言葉に出して言うべきだ

エ：相手や状況によって、察し合いの会話をするかどうか使い分けるといい

【問い】　文章の内容とグラフが合う組み合わせはどれか。

1　A:ウ　B:エ　C:イ　D:ア

2　A:ウ　B:エ　C:ア　D:イ

3　A:エ　B:ウ　C:イ　D:ア

4　A:エ　B:ウ　C:ア　D:イ

問題Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　水を＿＿＿にして、歯を磨くのはもったいないですよ。

1　出しがてら　　2　出しっぱなし　　3　出すほど　　4　出すのみ

(2)　この試験は非常に難しく、私も4回目＿＿＿ようやく合格できた。

1　にして　　2　におうじて　　3　にしたがい　　4　にくわえ

(3)　外国語教育について、政府の方針に＿＿＿計画を立てた。

1　ついだ　　2　至った　　3　即した　　4　比した

(4)　当劇団は評判がよく、明日の公演を＿＿＿、今年は10都市をまわる予定である。

1　かわきりに　　2　かえりみず　　3　前にして　　4　禁じえず

(5)　最近の若い親と＿＿＿、子どもが電車の中で騒いでいても、ちっとも注意しようとしない。

1　あれば　　2　いえども　　3　ばかりに　　4　きたら

(6)　お忙しい＿＿＿恐れ入りますが、どうかよろしくお願い申し上げます。

1　ところを　　2　ものを　　3　ときを　　4　ことを

(7)　1年に1回ぐらい＿＿＿、こんなにしょっちゅう停電するようでは、普段の生活にもさしつかえる。

1　ならまだしも　　2　ともなると　　3　にあって　　4　ほどでなくても

(8)　こうして私たちが商売を続けられるのも、お客様＿＿＿のものと感謝しております。

1　だって　　2　あって　　3　かぎり　　4　ばかり

(9)　こんなに騒がしい部屋では、赤ん坊を＿＿＿寝かせられない。

1　寝かせるかたわら　　2　寝かせつつ

3　寝かせるがはやいか　　4　寝かせようにも

(10)　この道具を一度＿＿＿、あまりの便利さに手放せなくなってしまった。

1　使わないにしろ　　2　使っただけあって

3　使ってからというもの　　4　使ってからでなければ

(11)　今年は、息子の結婚、孫の誕生と、めでたいこと＿＿＿一年だった。

1　まみれの　　2　ずくめの　　3　めいた　　4　っぽい

(12)　大学生の就職は、今年は去年＿＿＿さらに厳しい状況になることが予想される。

1　にからんで　　2　にかかわらず　　3　にのっとって　　4　にもまして

(13)　電車が駅に止まり、ドアが開く＿＿＿彼は飛び出していった。

1　ことなしに　　2　やいなや　　3　ともなしに　　4　におよんで

(14)　暑い日に草むしりをしていたら、汗が滝＿＿＿流れてきた。

1　のごとく　　2　なりに　　3　らしく　　4　じみて

(15)　腰に痛みがあると、運動＿＿＿、日常生活でもいろいろ不便なことが多い。

1　をよそに　　2　はどうあれ　　3　をふまえて　　4　はおろか

(16)　彼はたび重なる困難を＿＿＿、前に進んでいった。

1　こめて　　2　とわず　　3　ものともせず　　4　たよりに

(17)　会社名が変わるのを＿＿＿、社員の制服も新しくすることが決められた。

1　めぐって　　2　越えて　　3　おいて　　4　契機に

(18)　好きなことを職業にする人が多いが、私は映画が＿＿＿職業にはしないことにした。

1　好きだからこそ　2　好きなわりには　3　好きなどころか　4　好きというより

(19)　国会議員＿＿＿、公務員＿＿＿、税金は納めなければならない。

1　というか/というか　　2　だろうが/だろうが

3　なり/なり　　4　だの/だの

(20)　留学する＿＿＿、勉強だけでなく、その国の文化を学んだり交流をしたりしたいと思う。

1　一方で　　2　あげくに　　3　以上は　　4　末には

問題 V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　小学校からずっと仲のよかった彼女が遠くに引っ越すのは、寂しい＿＿＿。

1　ほかない　　2　に限る　　3　限りだ　　4　にほかならない

(2)　台風の被害にあった人々のため、一日も早い生活環境の整備を＿＿＿。

1　願っていられない　　2　願うわけでもない

3　願いようもない　　4　願わずにはいられない

(3)　首相が誰になるかは、日本の将来＿＿＿ことだ。

1　に基づく　　2　にかかわる　　3　にかたくない　　4　に相違ない

(4)　この地域の再開発に自分がかかわることになろうとは＿＿＿。

1　想像すらしていなかった　　2　想像することができた

3　想像さえしたわけだ　　4　想像しないではいられない

(5)　この作品の芸術的価値は高く、十分、今回の展覧会に出品する＿＿＿。

1　にとどまる　　2　にすぎない　　3　にたる　　4　にこたえる

(6)　就職が決まらなくても困らない。アルバイトをして生活する＿＿＿。

1　までだ　　2　かわりだ　　3　とおりだ　　4　ほどだ

(7)　新しく来たコーチに対する彼の態度は、コーチとして認めないと＿＿＿。

1　言うまでもない　2　言いがたい　　3　言わんばかりだ　4　言わなくもない

(8)　君たちが成功するかどうかは、与えられたチャンスをどう使うかに＿＿＿。

1　たえない　　2　かかっている　　3　かなっている　　4　あたらない

(9)　地元の住民の反対を無視した開発は＿＿＿。

1　進めずにおくものか　　2　進めるべきだ

3　進めずにはおかない　　4　進めるべきではない

(10)　国際交流を進めるには、相手を理解しようとする姿勢＿＿＿。

1　は否めない　　2　をかえりみない　3　が欠かせない　　4　を異にする

問題 Ⅵ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　最近の祭りは以前ほど活気がなくなってきた。仕事を＿＿＿行く必要はないだろう。

1　休むことなく　　2　休まないで

3　休まないまでも　　4　休んでまで

(2)　政治家は国民全体の利益を考えるべきだ。自分の利益のために法律を変える＿＿＿。

1　ことにしたくはない　　2　ことがあってはならない

3　ことともいえる　　4　ことにならない

(3)　複雑なニュースでもできるだけわかりやすく解説する工夫が必要だ。ともすれば＿＿＿。

1　ニュースもわかりやすくしすぎてしまう

2　ニュースは早く伝えすぎることはない

3　ニュースには難しい言葉が使われがちである

4　ニュースも簡単になる傾向がある

(4)　私は医者として、できるだけ患者の不安や悩みを聞き、患者が安心して医療を受けられるよう努力している。しかし、そこまでせずに、＿＿＿。

1　薬を飲まない患者もいる

2　薬だけ出して済ませる医者もいる

3　不安になる医者もいる

4　医者に行かなくなる患者もいる

(5)　航空、レジャー関連企業が若者に人気があるという。海外旅行が珍しい時代ではあるまいし、＿＿＿。

1　どうして若者はそういった企業に行きたがるのだろうか

2　若者は、海外へあこがれる気持ちが強いのだろう

3　航空、レジャー関連企業は珍しい仕事なのだろう

4　どうして若者は海外旅行へ行くのだろうか